田和山の森から

183 号

令和元年 12 月 8 日
発行　里山を育てる会
不定期刊行

田和山の樹木（第６回）アカマツとクロマツ

針葉樹の第６回目は、アカマツとクロマツでこれが針葉樹編の最終回です。

樹皮がアカマツは赤くクロマツは黒いのでこの名が付いており、この２種は非常によく似ていて、アカマツの葉がやや細く柔らかく、手で触れてもクロマツほど痛くないので、クロマツが「雄松」と呼ばれることに対して、アカマツが「雌松」とも呼ばれています。マツクイムシ被害に遭うまでは、マツは松江周辺の山の優占種でしたが、今ではその面影はありません。田和山も例外ではなくマツは今や絶滅状態ですが、かろうじて切り土斜面の一部に生育しています。この残っているマツは、アカマツとクロマツがそれぞれ一本ずつですが、枝階（幹と幹から発生する輪生状の枝から構成され一年に一つずつ形成される）をたどることでマツの樹齢を推測すると 21 年生前後と思われます。ちょうど田和山一帯が開発か保存化で揺れていたころに、どこからか飛来してきた種が育ったものです。

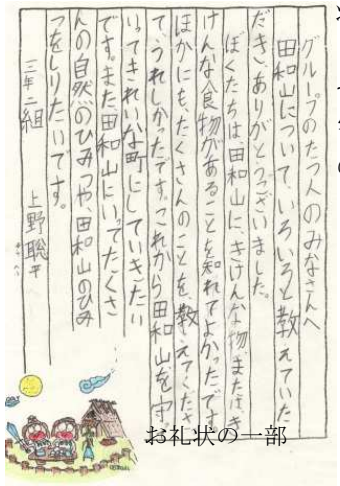
自然学習の森入り口のアカマツ

黒松が海岸線沿い、アカマツが内陸というのが、本来の生息範囲ですが、クロマツは街路樹や庭木としてたくさんありますので、田和山の切り土面にちょうどこの２種類が共存しています。マツは日光に対する要求が極めて強く、樹木に覆われた今、往時の姿に戻すことは困難です。

針葉樹のまとめ　・・・田和山で確認できるのは 10 種類だけです。　竹下記

子供からのお礼状

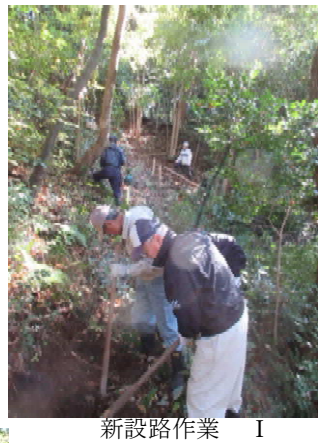
乃木小３年生が、去る５月総合学習の一環として森を訪れ学習しましたが、そのまとめも終わりお礼状を冊子にして送ってくれました。一日だけでしたが、それぞれにいろんなことを学びとったようです。来年のためのアンケートもあり回答しておきました。


グループのたつ人のみなさんへ
田和山についていろいろと教えていただきありがとうございました。
ぼくたちは田和山にきけんな物またはきけんな食物があることを知れてよかったです。
ほかにもたくさんのことを教えてくださいてうれしかったです。これから田和山を守っていきたいです。また田和山にいてたくさんの自然のひみつや、田和山のひみつをしりたいです。
三年二組　上野聡子

お礼状の一部

〝散策路の新設〟

森の休憩所から展望台に上るつづら折りの道の途中から、右（北側）へ上がる散策路を新しく造っています。この区域にはいろんな常緑樹があり、観察や作業に登りやすく便利になります。


新設路作業　I

新設路作業　ii

シイタケ原木の伐採

先日、東側斜面の整備に併せ、シイタケの原木用にコナラを一本切り倒しました。かなり大きな木であり、安全のためチルホールリバティを使って切りました。

これまでは、森に多く生えているノグルミを原木にしていたため、表皮がすぐに駄目になっていました。この区域の下側には、植林したドングリ類が丁度良い大きさに成長しており、来年からはこれ等を原木に利用できます。

古木の伐採

森の紅葉

田和山住居で元旦ライブ！

田和山山頂では、毎年多くの人が元旦に集まり“初日の出”を拝んだり、写真に撮ったりしています。サポートクラブでは、参加者にお茶やぜんざいのサービスを行ってきましたが、今年は初めての催しとして、初日の出の後、竪穴住居で無料のミニライブが企画されました。歌われるのは遠藤律子さんで、島根県の遣唐使を務め、出雲大社神楽殿での奉納ライブや県民会館での水燈路応援ライブなど各地で活躍しておられる方です。どなたでも参加できますのでお出かけ下さい。雨天や降雪の場合は中止です。日の出は７時 15 分頃、ライブは７時 45 分頃から始まります。

なお、里山を育てる会の方で、準備のお手伝いができる方はお願いします。（日時内容等は後日連絡します, 田和山館にも掲示）

○作業予定

12 月　13 日（金）13：30～、21 日（土）9：00～仕事納め

1 月 17 日（金）13：30～仕事始め及び新年会（準備・宴会・片付け 15 時～20 時）、24 日（金）13：30～、31 日（金）13：30～,　　2 月 7 日（金）13：30～、15 日（土）9：00～、21 日（金）13：30～、28 日（金）13：30～